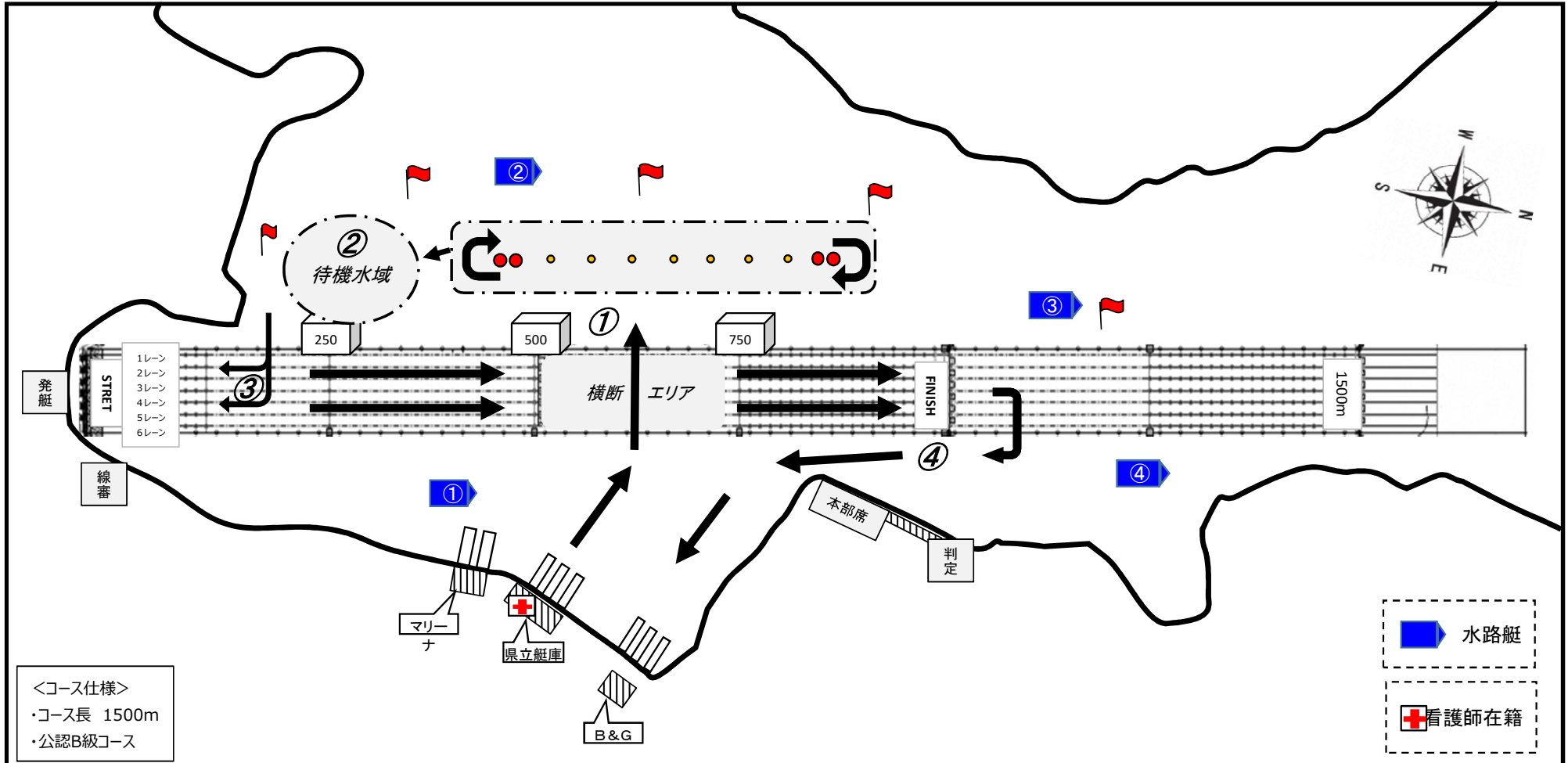


航行ルール（レース時）



<コース仕様>
 ・コース長 1500m
 ・公認B級コース

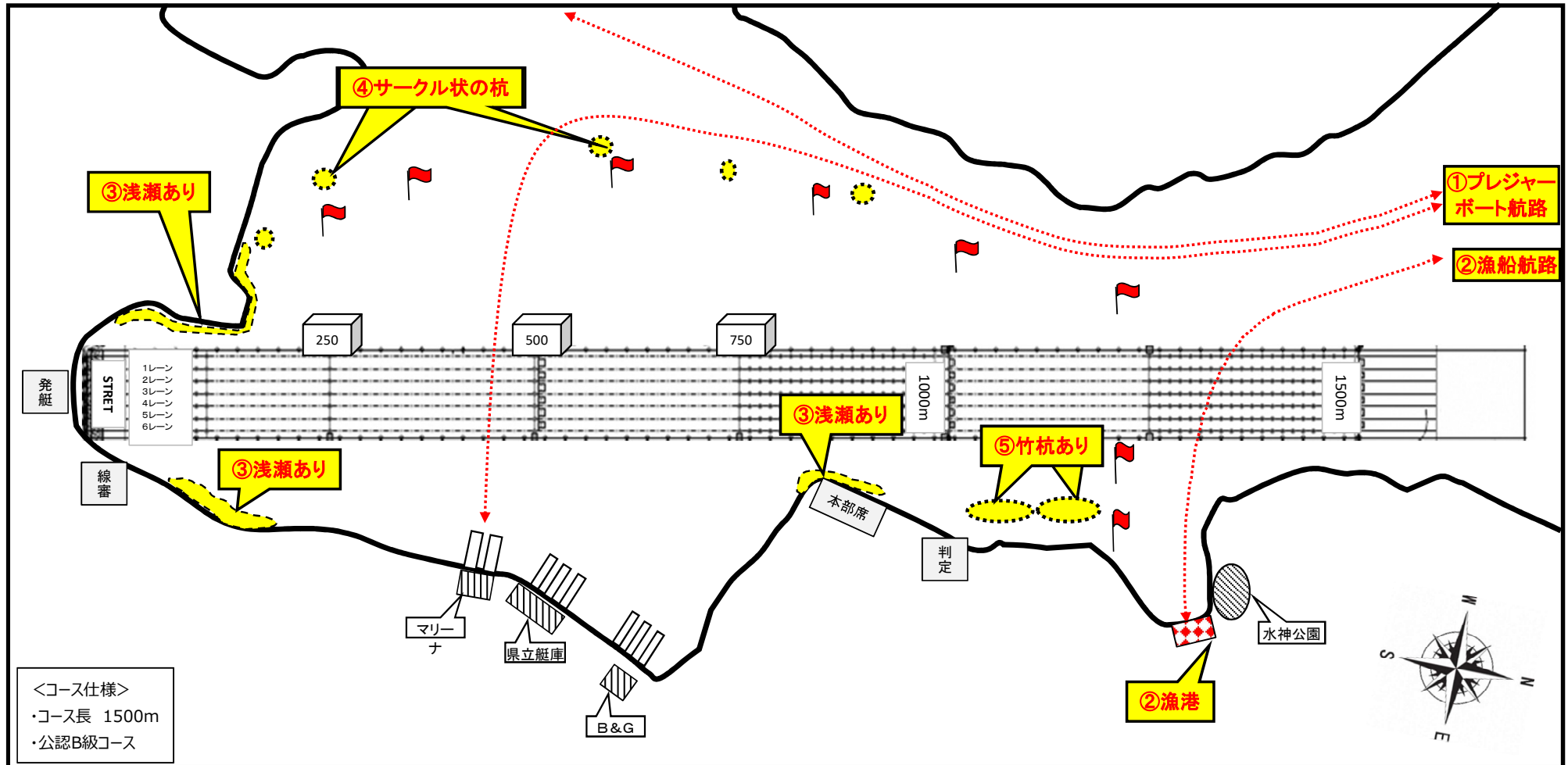
水路艇
 看護師在籍

- ◆ コースは対岸から1L, 2L, 3L...であり、県立艇庫側が6レーンである。
- ◆ コース対岸側には「練習水域」を設定している。(航行ルールは時計まわりとする)

- ① レースに向かうクルーは、県立艇庫(またはB&G艇庫) 桟橋を出たら、500m~750mのコース内を横断し、一度対岸側の練習水域へ向かう。
- ② 自身の発艇定刻が近づけば、「練習水域」から「待機水域」へ移動する。
- ③ 発艇からの呼び込みコールがかかった後、待機水域からコース内へ進入、自己のレーンを通してスタート方向へ向かう。
- ④ フィニッシュ後は、本部席前の水域を通して帰艇桟橋へ速やかに戻る。

- (注意1) 対岸側の赤旗設置場所より沖側は危険水域であり絶対に超えないこと。
 (注意2) レースがスタートしている場合は、コース横断は禁止とする。レース状況をよく確認の上、横断すること。(レース通過後から次のレーススタートまでは横断「可」)
 (注意3) 艇故障時や体調不良など緊急の場合には、近くの審判員(または水路艇)に伝えること。
 (注意4) 岸に近い所には浅瀬があったり、水上にところどころ竹杭など障害物があるので十分に注意すること。

ス々子湖ポートコース近辺の危険箇所



- ① 県立艇庫横のマリーナから沖合まで、およびコース沖合には、プレジャーボートの航路がある。(大会期間中のプレジャーボート航行の際は水路艇にて徐行を促す)
- ② 水神公園横には漁港があり、漁船が出入りする。(1500mフィニッシュ付近を横断する航路のため、漁船が出入りする際は水路艇にて徐行を促す)
- ③ スタート左右の岸近辺、および本部席前の岸近辺は浅瀬となっている。
- ④ コース沖合(県立艇庫対岸側)には、サークル状の杭が数箇所設置されている。
- ⑤ 判定部署前には、竹杭が広範囲に設置されている。